

## 本物の豊かさとは？

今、日本は非常に豊かになっています。不況とはいえ、大抵のものを調達することができる世の中になっていますね。でも、「あなたのためにこれを持ってきたよ。」というような機会がとつても減ってしまっていること、これが心の不適應の問題 - 何か虚しい、生きている力を損なう - こういう影響を及ぼしているのだと、みなさんも思っているのではないのでしょうか。

これは家族もそうですし、仲間関係や地域社会もそうであると考えています。今は家族の人数も減ってきてしまっていますからね。昔は7、8人の家族も普通にあったわけですね。兄弟だって5、6人くらいはいたし、おじいちゃんおばあちゃんも一緒だったし、場合によってはまだ結婚していないおばちゃんやおじちゃんも大家族の中で、一緒に屋根の下で暮らしていて、そしていろいろな関わりがあちこちで生まれていて、そして会話をすることでもできていたんです。大きい家族というのは、もちろんこわい姑さんがいて厳しかったかもしれないけど、1つのまとまりとして、同じ屋根の下で人間の集まりがあったと思います。気遣いもありましたね。譲り合うということもありましたね。分け合うこともありました。今、それが分解しました。個々の核家族になりましたし、単身になってきております。とても楽ですね。どの時間まで寝ていてもいいし、何を食べてもいいし、どのように過ごしても誰にも叱られることはないですね。でも、人が思ってくれる、人が気にかけてくれるような機会は、放っておくと減ってしまうという問題が出てきています。確実にそれは進行していますね。その中で食を1人で済ませるという事態も増えているわけです。

そんなにお金がなくともちょっと珍しいモノがあるという情報を聞いたら、そこに行ってみることが可能です。いろいろなものを食べることができるわけです。昔よりも豊かなものを食べていることが分かりますよね。“豊か”か“豊かでない”か、これは判断です。私から見ると、豊かそうでありながら「何でしょう、この添加物だらけのもの。」と思うんですね。「これは見かけは豊かだけれども本物ではないな。」と思います。本物というのは、本当に育てられたところから、調理するところから、ちゃんと心が込められているときに本物の豊かさがあると思っています。